

● 相談機関 ●

宇土市地域包括支援センター

☎ 24-1555 宇土市南段原町164-5

地域包括支援センターは地域で暮らす皆さんが、その人らしい生活を続けられるように介護・福祉・医療・保健の多方面から総合的に支援する相談窓口です。お気軽にご相談ください。ご相談の内容や個人情報は守ります。

〈宇土市地域包括支援センターの協力機関〉

宇土市地域包括支援センターランチ本町 ☎ 23-5266 宇土市本町6丁目7

宇土市地域包括支援センターランチ西部 ☎ 27-1010 宇土市上綱田町3676

認知症初期集中支援チーム（宇土市地域包括支援センター内）

☎ 24-1555 宇土市南段原町164-5

認知症が疑われる方又は認知症の方やそのご家族を訪問し、相談に応じます。ご本人やご家族の状況に合わせた、病院受診やサービス利用、ご家族の介護負担軽減等の支援を行います。対象となるのは、40歳以上で、自宅で生活をしており、認知症の症状などでお困りの方です。

認知症疾患医療センター くまもと心療病院

☎ 22-1106 宇土市松山町1901

認知症に関するお悩みや心配ごとを相談する医療機関です。

- ・医療機関を受診する前の相談
- ・患者様やご家族の希望に沿う認知症専門機関の紹介
- ・認知症の早期発見
- ・入院や入所に関する相談
- ・認知症の原因を特定する診断及び診断に基づいた治療と対応

● つどいの場 ●

介護者のつどい

介護されている方同士の交流やお悩みごとの相談を目的に実施しています。

●実施機関（宇土市から事業を委託）

- ・医療法人社団 金森会 あさひコート ☎23-5211
- ・介護老人保健施設 景雅苑 ☎27-1708

認知症カフェ

認知症の方やその家族、地域住民、専門職等が集い、交流や情報交換ができる場所です。

●実施機関

- ・ひなたぼっこ（グループホームうきうき） ☎22-6916
- ・ひまわりカフェ（照古苑ひまわりホーム） ☎22-3900

平成31年2月 発行：宇土市高齢者支援課

みんなで見守ろう！

認知症 ケアパス

認知症の種類と症状

アルツハイマー型認知症

認知症の中で最も多い種類です。症状の起こる数年前、比較的早い段階で診断が可能であると言われておりますので、次のような症状が現れたら、早めに相談しましょう。

- 日にちや曜日が分からなくなる
- 不必要な買い物をしたり、支払いがうまくできない
- 場所がわからなくなったり、季節に合った服が選べない
- 暴言、暴力、被害妄想、幻覚、徘徊などがある
- 家族や身近な人のことがわからなくなる

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血による後遺症として発症するため症状にも個人で違いが現れます。

- 麻痺や歩行障害
- 意欲や自発性の低下
- 排せつの失敗
- 食べ物を上手に飲み込めない

前頭側頭葉変性症

脳の前頭葉や側頭葉が萎縮することで発症します。前頭葉では人格障害、側頭葉では記憶障害がみられます。

- 身だしなみに無頓着になり、着替えもしない
- 落ち着きがなくなる
- 自発的な会話が少なくなる
- 言葉が続かない
- 身の回りのものの、使い方がわからない

レビー小体型認知症

アルツハイマー型認知症と症状は似ていますが、初期から「幻覚」がみられます。

- 人や物事に対して反応がない
- 睡眠障害がある
- 錯乱する
- 幻視、幻覚がある

宇土市

●認知症の進行と対応の変化の例●

認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。
 家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて上手に対応していくことが大切です。
 ※症状の現れ方には個人差があります。



認知症ケアパスとは
 認知症になった場合に、症状の進行にあわせて、
 いつ・どこで・どのような医療・介護サービスを受
 けることができるかをわかりやすく提示したものです。

認知症の進行	正常なレベル	軽度認知障害（MCI）	認知症（代表的なアルツハイマー型認知症の進行の例：右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態）				
		5年前後で約半数が認知症に！	発症 初期	中期	後期		
			認知症疑い	軽い症状はあっても日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 の例		<input type="checkbox"/> もの忘れが多いが自立して生活できる <input type="checkbox"/> 片付けが苦手になる <input type="checkbox"/> 外出がおっくうになる	<input type="checkbox"/> なんとなくおかしいと感じて不安になる <input type="checkbox"/> 気分が落ち込む <input type="checkbox"/> 頭の中に霧がかかったようだ <input type="checkbox"/> 約束が思い出せない <input type="checkbox"/> 物事が覚えにくい <input type="checkbox"/> やる気がでない <input type="checkbox"/> 不安が強い <input type="checkbox"/> 「物を盗まれた」などのトラブルが増える <input type="checkbox"/> 失敗を指摘すると怒りだすこともある	<input type="checkbox"/> よく道に迷う <input type="checkbox"/> 妄想が多くなる <input type="checkbox"/> すぐ興奮する <input type="checkbox"/> 着替えや食事、トイレがうまくいかなくなる <input type="checkbox"/> 服を着替えるなどができない <input type="checkbox"/> ついさっきの事も忘れる <input type="checkbox"/> 時間や場所がわからない <input type="checkbox"/> 家電の操作が難しくなる <input type="checkbox"/> 生活リズムが乱れる	<input type="checkbox"/> 表情が乏しい <input type="checkbox"/> 尿や便の失禁が増える <input type="checkbox"/> ほぼ寝たきりで、意思疎通が難しい <input type="checkbox"/> 日常生活全般にいつも介護が必要 <input type="checkbox"/> 家族の顔や使いなれた道具がわからない <input type="checkbox"/> 自分で食事ができなくなる <input type="checkbox"/> 言葉によるコミュニケーションが難しい		
家族の気持ち と心構え	◎ 本人から地域行事やボランティアを行うなど、社会参加してもらうように働きかける ◎ 家庭内での役割を持ってもらい、継続できるようにする ◎ いつもと違う、何か様子がおかしい、と思ったら早めにかかりつけ医や宇土市地域包括支援センターに相談しましょう	◎ 接し方の基本やコツなどを理解する ◎ 家族間で介護の事について話し合っておく ◎ 介護で困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談しましょう	◎ 介護者自身が健康管理を行う ◎ 介護の負担が増えるため、早めに担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談しましょう ◎ 施設での生活を希望する場合は、早めにいくつかの施設を見学しておきましょう	◎ 日常生活でできないこと（食事・排せつ・清潔を保つなど）が増え、合併症を起こしやすくなることを理解しましょう ◎ 最期の過ごし方や看取りについて家族間でよく話し合っておきましょう ⇒ 元気なうちに本人の意向を確認しましょう。エンディングノート等を活用するののも一つの方法です。			
	家族の「気づき」がとても大事	悩みを打ち明けず一人で悩んでしまいがちです ⇒抱え込まずに相談をすることが大事です ⇒地域の人にも理解と協力を求めましょう 家族の病気への理解が、今後の症状の出方に大きく影響します	本人の失敗が増え、介護疲れを感じます。 ⇒介護サービス等を利用し、自分のリラックスできる時間も大事です				

支援機関	○認知症に関する相談機関 ・宇土市地域包括支援センター ・認知症初期集中支援チーム ・認知症疾患医療センターくまもと心療病院 ・熊本県認知症コールセンター（096-355-1755）	○介護で困った時は介護保険の申請、介護認定を受けて介護サービスを利用しましょう 例）訪問介護・訪問リハビリ・訪問看護 通所介護（デイサービス） 通所リハビリ（デイケア）	○在宅のサービスだけでは支えきれなくなってきた場合 例）小規模多機能型居宅介護 短期入所（ショートステイ）	○施設入所を考えるようになった場合 例）認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 特別養護老人ホーム 有料老人ホームなど
生活支援	○民生委員 ○嘱託員（区長） ○地域の方	○認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク登録 ○認知症の人と家族の会 ○介護者のつどい ○認知症勉強会など	○地域福祉権利擁護事業（金銭管理など） ○成年後見制度	

※もの忘れなど気になる症状があれば、まずはかかりつけ医に相談しましょう。必要な場合は専門医などを紹介してもらいましょう。